

外国語学習のめやすマスター研修_2014 夏_事前課題

作成者：門脇薫

学習シナリオ

テーマ：映画を利用した対話を通した学び合い

- 外国人留学生の「日本事情」と外国語学部生の「日本語教授法」の異文化共修クラス -

レベル：4（外国人留学生、上級レベル）5名

日本語母語話者（外国語学部学生）11名

<場面状況>

・外国人留学生（学部生）の大学での「日本事情」の授業15コマのうち3コマを、日本語教育を学び「日本語教授法」を受講している外国語学部の日本人学生と合同で授業を行った。（2012年12月実施）

・「日本事情」の授業は、3コマ（1コマ90分）で、あるテーマを取り上げ1つの映画を部分的に視聴する。

・本授業で取り上げる映画とテーマ

映画「お受験」：教育・男女の役割（ジェンダー）・家族

・共修クラスの目的

「日本事情」：日本語を使う機会を創出し、自文化・異文化について考察する。

「日本語教授法」：外国人留学生対象の日本語の教え方を見る。

授業を通して言語を学ぶ仲間として学ぶ姿勢を振り返る。

<3コマ分の授業の流れ>

1) 映画についての情報・その他背景知識について説明

使用教材：

「お受験」(DVD)

「第10章 お受験」『映画で日本文化を学ぶ人のために』窪田守弘編 世界思想社

→読解、せりふから表現を学ぶ

2) 映画の場면을部分的に視聴・観察

内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題

使用教材：教師作成のオリジナルタスクシート

例) 登場人物について観察しましょう。

塾の場面：気づいたことをメモしましょう。

あなたの国にこのような塾がありますか。

面接の場面：面接官はどのような質問をしましたか。

3) お受験についてプレゼンテーション

外国語学習のめやすマスター研修_2014 夏_事前課題

作成者：門脇薫

学習シナリオ

例) お受験にかかる費用

小学校の受験問題を実際に皆でやってみよう。

4) テーマについてグループワーク (対話の活動)

留学生と外国語学部生が一緒になるようにグループ編成をする。

例) 塾と習い事の経験 (個人の経験)

自国の受験制度について

子供が低年齢の早いうちから習い事や塾に通うことについて (早期教育)

「夫は仕事、妻は家庭」という男女の役割について (ジェンダー観)

将来結婚したらどのような家庭にしたいですか。 (ワークライフバランス)

5) レポートを書く (宿題)

授業では映画を全部視聴できないため、宿題として図書館で DVD を全部視聴する。

考察するためにインターネットで調べる。

<授業後>

- ・授業は3コマのみであったが、その後留学生と外国語学部生は、連絡先を交換する等、個別の交流がスタートした。
- ・今回の3コマ分の授業デザインを「日本語教授法」担当の教員と共に協働で行うことができた。

テーマ名:映画を利用した対話を通した学び合い。
 -外国人留学生の「日本事情」と外国語学部生の「日本語教授法」
 の異文化共修クラス-

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	シナリオ中の該当する箇所 ・映画を視聴して面接場面で使われる表現・質問。 ・映画についての解説書『映画で日本文化を学ぶ人のために』の読解。 ・登場人物の話す台詞を聞いて、日本語のバリエーションを理解する。	シナリオ中の該当する箇所 ・映画についての解説書『映画で日本文化を学ぶ人のために』を読んで知識を得る。(例:絵馬、リストラ) ・映画を見て、日本の会社、家、塾等について観察する。	シナリオ中の該当する箇所 ・日本語教育を学ぶ日本語母語話者である日本人学生にとって、学内にいる身近な留学生と接することで、外国語学部として日本語教育や外国語を学ぶ意味を理解する。 ・映画を通して教育、家族の在り方について考察する。
できる	シナリオ中の該当する箇所 ・映画のテーマについて、グループディスカッションができる。 ・登場人物の台詞を聞いて、母語と比較する。 ・日本語母語話者とのディスカッション:コミュニケーションギャップがあるときに意見を伝える、わからないことを聞く等。	シナリオ中の該当する箇所 ・映画をメモしながら視聴し、観察する。 ・日本語母語話者とのグループディスカッション:教育、男女の役割等の映画のテーマについて他者の意見を聞いたり、自分の意見を述べる。	シナリオ中の該当する箇所 ・外国人留学生と外国語学部生(日本語母語話者)が同じグループで意見交換することができる。 ・異なる文化を持つ様々なグループメンバーとのディスカッションの後、自宅学習としてさらに自分の考察を深め、レポートを作成する。 ・映画を利用した授業:娯楽として視聴していた映画を、日本語学習の学習リソースとして捉える。
つながる	シナリオ中の該当する箇所 ・日本語母語話者とのグループディスカッション:自己紹介やウォーミングアップのための質問(どのような習い事をしていましたか)をしあうことで、お互いを知り関係を作っていく。	シナリオ中の該当する箇所 ・日本語母語話者との共修クラス:授業終了後も、日本語母語話者と同じ大学の学生というつながりを持つことができる。	シナリオ中の該当する箇所 ・授業終了後に、学部を超えて留学生と日本人学生が交流する。大学の学内の国際化。
三連携	シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度)		
	シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる)		
	シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる)		